

事業を自分達で立案・計画・実施・評価していること。
事業を実施している中で様々な問題点等起こった時、いろいろな声を聞きながら改善しているところ
事業を総合的に企画し、運営していること
事業を展開しているうえで、参加人数で判断されるのではなく実施し、参加者にとってのどれだけ効果があるのかという数であらわせない質について。
事業計画立案までに専門職として住民とかかわり統計や情報をもとに分析など行い、実施していること。
事業実施において、関係職種と連携をとりながら、円滑な事業実施に努め、又事業評価により次の計画に生かしていく
事業実施のみならず、事業の効果や課題に対してどう改善するために取り組んでいること 当事者(住民)との関わりのみならず、地域全体も考慮しながら事業の企画・運営をしていること
事業実施の目的に添うよう企画・運営を工夫していること
事業実施後の数字(参加者数や受診者数など)だけでなく住民の反応や変化など過去からの積み重ねによる経年的な結果を評価してほしい。
事業終了後、アンケート結果や住民の声を次回の事業計画に生かしていくこと。
事業終了後、カンファレンスを行い、ケースへの関わりについて、改善すべき点をあげ、できることから改善していくこと。
事業終了後の評価において、その反省や次回、今後の事業の企画について考察していること
事業全体を見通して準備し行動している点。
事業担当とフォロー処理でおわれているので、評価という点でみていなかった
事業担当制でないので、ほぼ全事業と訪問事業、介護の調査などなど、業務量は大きいです。それでも住民ニーズを大切に、寄り添って事業をしているところ。
事業等、参加及び動員人数のみならず、医療的・看護的視点から関わったことにより、参加者の健康に対する意識の向上等の変化から評価してほしい。個々のケースの能力、考えを尊重しながら、関わっていること
事業統計等、市民のアンケート調査を基にした企画立案運営
事業内容や結果にかかわらず、準備に労力がかかっているところ
事業評価を数値化できにくい、部分対する、評価ができていない
事業目的にそった業務遂行の手順、利用者との関わり方
事業目的にそった業務遂行の手順、利用者との関わり方
事務、雑用を多くこなしていること。
事務100%の業務でなく、看護医療の知識を生かして、もっと幅広く事業に携われること
事務と現場を共にしていること
事務に追われていてもとにかく訪問を大事にして1人1人の住民と直接会っていること。1か月に少なくとも10単位(半日は1単位)は訪問に出る
事務のみでなくケースに対する気持ち、職場の人間関係に関する心づかいなど
事務の仕事の面からのみの評価でないようにしてほしい
事務仕事から専門職の仕事まで多くの仕事を日々こなしているところ
事務処理はわりと早くできる点
事務処理能力 対人保健サービス
事務職、係長多忙だが、満足感は乏しい
事務職、専門職のへだたりなく、他部門との連携を大切にしながら様々な情報を仕事に生かしていること
事務職がいない部署で、保健師の指導をしながら、専門以外の事務の多くを行っていること、住民主体の保健活動の企画、現任教育の実施、住民組織育成 1. 看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。2. 地域を見る観点から、統計処理はもちろん住民の声を大切にしていること。
事務職ではなく、専門的知識を持った専門職であり、健康づくりについてはプロであるということ。(→事務ができてこそ1人前という評価がまかりとおっており、他の事務職と同じ様に事務がこなせなければいけず保健師として住民から評価が高くて、他部署やトップの人たちからは認められない風潮がある)住民の声に一番近くにおり、統計データと住民の声をあわせて事業を実施しているところ
事務職ではなく専門職を生かした日々の活動
事務職とは、あきらかにちがう仕事をしているんだというところ。役場内では、浮いた存在としてみられる。
事務職とはちがいで、住民と関わる仕事であり、専門を生かした職として、最先端の現場で住民と接していること、このことで、住民のニーズを一番把握でき、それを計画に生かすことができる。住民と共に考える会議の場で、市民と共働して仕事ができていること。
事務職と専門職とのパイプ役として仕事全体を把握して事業を企画、運営しているところ。
事務職の中で仕事しているので専門職として評価してほしい
事務職の中に、今年度新たに配置された、たった一人の保健師なので、評価してもらうことは期待していません。
事務職の中に1人だけの保健師です。事務職の方々にも専門的知識の必要性を常に要求しています。それに答えてくれる人々に感謝しています。危機管理にはマニュアルがないと云われます 毎日ヒヤヒヤしながらSARSやインフルエンザ等気が休まりません
事務職の中にあって保健師という専門職として、住民や関係機関に関わりそこから得た情報を基に事業の企画、運営をしていること
事務整理におかれる時間が多く、専門職として業務に従事することが最近少なくなってきた。自分の仕事を評価する前に、新しい力を得るために研修(自己学習)に参加する時間を作り勉強したいと思う。また、住民の声をまとめ整理をし、事業の企画・運営にいかに生かしたい
事務的な業務がほとんどを占めているが、保健の専門職としての知識をいかして仕事をしている点。事務職から保健医療に関わる相談(仕事上のこと個人的なことを含んで)を受けることに対して自分の業務時間をさいて、対応している点。
事務的な業務であっても、利用者(住民)の思い(声)に配慮していること
事務的な面ではなく、困難事例に対する対応方法や連携方法について。
事務的に物事を進めるのではなく、各ケースにおいて対象者の立場にたって考えていること。
事務能力が重要視されがちであるが、保健師業務そのものも評価して欲しい
事務方(上司)の方に、書面や報告書以外の地域を見る観点から日々の活動を評価してほしい。

事務量が多いので効率的に業務を実施し、専門職の能力が生かせるように事業を展開すること
事務量が多い中、住民の声に耳を傾けていること。
事務量では
事務量の多さのため、本来の活動にしろよせがきている。そのため、参考書を読んだり、資料を読む時間はもとより、公文書もじっくり目を通す時間がない。サービス残業で、最低限の事業をこなしているという現状。
事例とかかわるプロセス
事例に対する個別ケア能力を評価して欲しい 個別ケアに追い廻されて、なかなか事業の企画運営には至っていないので。
事例の気持ちを自分のできる限り考えながら接していること
事例への対応について、課内関係職員や関係機関との連携を図ること。
事例一人の問題として、だけではなく、家族の問題として、事例を見るところ
事例事業を通し、連携の密にし、ネットワークの充実を図っていること
事例事例に対し、適切な対応ができていくかどうか。
事例等業務の困難さ、解決への複雑化、他機関との連携の多様化などに取り組んでいること
兎をみる確かな視点をもっていること
時間が少ない中(業務が多い)でなんとか実施している 業務への取り組み状況
時間のない中、事業をなんとか運営しているところ
時間はかかっても、1つ1つのことにきちんと取り組もうとしている姿勢
時間はかかるが、1つ1つのケースに対し一生懸命フォローしているところ
時間はかかるが個人へのかかわりを多く持っていること
時間は要するが、住民からの相談に耳を傾け、問題解決に向けての援助をする姿勢、住民の声を大切にしていること
時間をおかず、すぐに対処しようとする。質問、疑問にきちんと答えること。
時間外までおおよぶ業務の量、質、その大変さ等わかってほしい。
時間対費用対効果を考えて仕事をすること。
時間内ではおられないほどたくさん業務があること。想像を絶するような家庭もあり、ストレスが非常に高いこと。
時代のニーズに沿って、即、実践部隊として動いていること。
時代のニーズに沿って、即、実践部隊として動いていること。
時代の流れに沿い、住民の声や情報を事業に反映するよう努力していること
時代の流れの中で変化していく住民のニーズや住民をとりまく社会環境生活環境等に即した事業の企画運営を心がけ又保健師活動の原点である訪問活動、健康相談、健康教育等住民と直接向き合いながら実践していく保健活動に時間を注ぐよう努力してきました
次々申請が来る認定調査を、あまりとどおることなくこなしていること。家庭訪問は相手の土俵が上がって行くため、市や国への不満、福祉のおくれ等を訴えやすい状況になる。日々そういった声の聞き役となっていること。
自ら、足を運んで、見て、聞いて情報を得ていること、常に、学習する意欲を持って、仕事に臨んでいるところ
自らのことのみでなく、全体への気配り目くばせをしていること。専門分野だけでなく、他の分野のことでも学習しよう理解しようと努力していること
自己学習、スキルアップをして知識を深め、業務に役立てていること
自己啓発、能力開発のため、外部研修で情報収集をしているが、組織として活かせる場がづくりにくい。(ボランティアとして、時間外で行っている地域グループ活動で活用している)
自己評価しても、最低の方だと思う。評価してもらえない仕事をしたい。
自治体に働く専門職(保健師)の評価の指針や求められるものは、ここ数年大きな変化があります。これからは、行政手続・能力が一番必要とされていると思います。(私個人としては、意識改革がうまく出来ない人間なので、目に見えない住民との関わり等の評価で充分だと考えています。)
自治体に働く専門職(保健師)の評価の指針や求められるものは、ここ数年大きな変化があります。これからは、行政手続・能力が一番必要とされていると思います。(私個人としては、意識改革がうまく出来ない人間なので、目に見えない住民との関わり等の評価で充分だと考えています。)
自治体労働者としての公衆衛生にたずさわる専門職として、民間では担えない"公務"を評価して欲しいそれは決して費用対効果や採算では割り切ることのできない住民の生命と生活を守る立場で在り続けられることの大事さを評価して欲しい
自主グループ育成(看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。)個別のケアマネジメント 面接技術 地域の情報(人、道、地域性等)一駐在制をとっていた時代があったのでー
自助グループづくり
自信を持って評価して欲しいと言える仕事をしているのか…?自分なりに専門職として住民とかかわり、声を聞く様にはしていますが、それがうまく仕事に反映できていないと感じています。
自身の仕事というより、保健師の仕事を実際にみてほしい(特に地区活動の様子は実施録などの報告になってしまっているため)
自宅でも仕事(健康教育準備や事務)をしているところ
自分がこう評価してほしいと考えたことはない。評価は自分ではできない。
自分がしている仕事の結果として目に見えるデータにできていない(勤務年数がないetc)ため、評価して欲しいところがないと思う。
自分ができる範囲で住民の方とかかわりをもっていること。(十分とは言えないが…)
自分がどう評価されたいのかという質問に対しては答えられない。しかし、スタッフの仕事の姿勢は、計画、実行、反省(評価)を全事業に文書で、事業のまとめとして、作成し、習慣づけている。週刊保健衛生ニュース、公衆衛生情報、母子保健ニュースなど、ペーパーベースの情報にもアンテナをはり、保健行政がどのように動いていき、それとどう対応していくか、考え、仕事を続けてきた。
自分から多くの住民さんと関わろうとしていること。
自分が関わった住民の変化。数値では表しづらいが、笑顔や気持ちの変化はその人の人生に大きな影響をあたえていると思う。これからは心の時代ますます感じるころ。
自分が頑張っているところと努力を要するところを卒直に意見してほしい
自分が頑張っている姿勢
自分が企画した事業を、関係機関、住民組織の育成の中で、自主運営につなげることにより、さらに、他地域へも事業を拡げることができた点

自分が行った(行う)業務の報告、連絡、また相談等はいいかげんにしないという考え方
自分が仕事の中で得たことを市民にかえそうと思っていること
自分が得た情報を基に事業の企画、運営をしていること
自分が評価に値するレベルまで達していないと思います…
自分が保健指導したケースの健康状態が改善された内容について
自分だけではなく他の人も含め、全員が、多くの業務量を抱えたなかで動めていること。
自分だけでわからなかったことは、そのままにせず、先輩などにすぐたずねること。住民と関わる時は、素早く誠実に対応していること。
自分たちが行っている保健事業の実績を把握してほしい
自分でも、自分の仕事をどのように評価してよいかよく分かりません
自分でも自分の能力がまだよくわからないので、特にない。
自分で計画をたて、実施していること
自分というよりも係の仕事として、仕事上で得られたデータを住民に返していく(基本健診のデータなど)
自分というより保健師について専門性を取りちがえて他の職種の人が多いので、健康づくりをベースに持った、まちづくりの荷手であることを理解してほしい。
自分としては(時々手を抜くこともあります)できる限り努力しているつもりです。それを周囲がどのように評価してくれるか…。特別自分から“ここを評価してほしい”という点はありません。
自分としては、専門職として仕事をしているが、まわりが(事務職)わかってくれているのか?→相手の気持ちや病状を把握して、その人のニーズをつかんで関わっているところを評価してほしい
自分としてはできる範囲で仕事に取り組んでいるつもりですが評価できるところといわれるとあまり思いつきません
自分なりに、地域づくりなどを考えて保健活動をしているところ
自分なりにより効率的な形で仕事にとりくんでいること
自分なりに頑張って仕事をしていることを、肯定的な表現で返して欲しい
自分なりに今できることを相手の立場を考えながら精いっぱい仕事をすすめているところ
自分なりに精一杯やっているつもりです。その姿勢を評価していただけたら良いです。(今までも評価してもらっていますが…)
自分なりに知識を増やして、健診時に相談にのれるよう心がけていること。
自分なりに地区診断をし、住民の声を聞きながら地域活動を展開しても質の評価はなく数の評価ばかりである
自分なりに努力して仕事をしていること
自分なりに努力して勉強して、資料を作ったり、住民と携わっていること。
自分にできることを一生懸命行おうとする
自分に与えられた業務を、与えられた範囲で努力していること、協調性
自分の、というだけでなく、保健師の仕事したいが時代の変化に合わせて柔軟に対応できていると思う
自分のかかった住民が元気で過ごしているかどうか
自分のしている仕事の評価はすぐにデータや数値として目に見えて表われてくるものではないが、人の将来を含めた予防活動であるということ
自分のできることをいかにこなしていくこと 振り返り自分なりの評価をし、他の人にも意見を求める。
自分のもっている専門職としての知識をつたえたり、支援をすることで、地域住民が少しでも健康生活につながり子育ても楽しくなることができるようになったときに、評価してほしい
自分の意にそぐわない業務でも、しっかりとこなしていること。今までHCでありながら誰も取りくんでいなかった保健情報の統計、分析を行っていること。
自分の活動に対する住民の反応
自分の企画した内容で事業を実施してきて、参加住民の健康状態に改善がみられたり住民同士の交流が深まって自主グループにつながっていったりした成果。
自分の業務に関係する業者や、臨時職員、課内の職員等と連絡を密にし、協調して事業運営をしていること。
自分の考えでばかり事業を押し進めるのではなく、仕事をしていく仲間の意見や考えを聞きながら実施していること
自分の考えと他者の考えを考慮し事業を展開しようと心掛けていること
自分の考えにより企画・運営をしていた事業
自分の考えを十分聞いてもらい評価してもらうことも1つにはあるが、相手のことも十分考えた、企画・運営をしている所。又、専門性を発揮してかかっている所
自分の仕事がついても先々にも地域住民が住んでいく上で、役立ったと思えたら、人からどう評価されるかは、あまり気にしない
自分の仕事が悪うようにできていないので考えられない
自分の仕事が生徒にとってどうだったか。全体的に。
自分の仕事というより「専門職の仕事の大切さ」を評価してほしい。事務には出来ない技術や人間関係の連携のつみかさねがあり、住民の中へ入り込んでもっと予防活動が出来る。
自分の仕事というより予防事業の重要性やその効果を見る視点や評価が難しく、時間がかかることを理解してほしい。お金がないから、住民が自分ですることだからと、目先のことで考えないでほしい
自分の仕事とは?与えられた仕事のこと?それを自分がやってみて、その自分に対しての評価?
自分の仕事に関する考え方
自分の仕事に自信がないので、何とも言えません
自分の仕事に自信がない時(一定の方針、指針を作成している時)に、その考え方について評価が欲しい
自分の仕事に自信がもてないので「評価してほしい」とは思えない。

自分の仕事のどこができていないのかわからないので客観的に評価して欲しい
自分の仕事の効果はすぐには目に見えてこないし、数値であらわせないものもある。日頃の仕事の積み重ねと思い、1つ1つの対応を大事にしている
自分の仕事の評価 仕事の評価は考えるが自分の評価はあまり考えたことがない。
自分の仕事の評価ということあまり認識せずやってきたので考えが付きません。目に見えるものでないとなかなか評価されるのは難しいと思いますが、目に見えない部分の活動も評価されたいのだからかと思えます
自分の仕事の評価は、勝手にしたいと思う人がしてくださいと思う。自分個人の仕事の評価はいらない、評価出来る人はもっと大きな視野で、組織や業務全体の評価をすべき。
自分の仕事の評価はしてほしいと思わない。
自分の仕事は特に評価してほしいと思ったことはないが、課員の保健師の仕事の評価はして欲しいと常々思っている。特に住民と密に関わりや困難事例が多くなっている昨今、本当によくやっている
自分の仕事を計画から評価まで責任をもって実施し、次の計画に生かしていること
自分の仕事を特に評価してほしいとは思っていない。保健師の増員や看護師の業務の必要性について、又、保育所へ入所する多動児のために保育士を増員してほしい時など、説明して理解を得、実現してもらったことなどの、過去の対応を思うと、それなりに評価されたと思っている。今は、後輩の保健師に研修の機会をより多く与えてほしいと思っているが、財政の厳しい中で「ベテラン保健師に研修は必要ないだろう」と逃げられるのが残念でしかたがない。
自分の仕事を評価して欲しいと思わない
自分の仕事以外の事が、忙しい時でも、協力できるものは、できるだけ協力しようとしていること
自分の専門性を生かして、事業にとりくんでいること
自分の対応について(記録等)何らかの助言してほしい
自分の担当した業務を成果、問題点を含めて考察しまとめているところ
自分の担当している仕事、地区を他の組織と連携して責任をもって行うこと。
自分の担当する地区を大切に、住民を大切に日々仕事をしていること。保健師として行政職として流石に、常に熱意をもって業務に従事し、積極的に事業について検討したり運営していること。
自分の担当業務について情報収集をつねにすること。
自分の知識のみでの活動ではなく、住民から学ぼうという姿勢で取り組んでいること
自分の役割に対して前向きに取り組んでいるところ
自分の与えられた業務をどの程度遂行しているか、客観的に見ていただければよろしいかと思えます。特に自分のここを評価してほしいというところはありません。
自分の力以上(知識、仕事量)のことで仕事として、努力していること
自分は、評価してもらえる程までに、仕事が達成していないと思う
自分はまだ事業に対しても住民の対応に対しても力は不十分で、自分のここを評価して欲しいと言えるところはない
自分は現在主に介護保険担当(相談、申請受付、初回のみ訪問調査、その後、ケアマネジャー等関係機関連携、連絡)をしています。住民に対し、介護保険の説明をわかりやすく、誤解のない様、独自に資料等作成し以後ケースがスムーズに介護保険を使える様に神経を注いでおります。(住民に対し、わかりやすく、たよれやすい行政となる様に)接遇に関して最大限努力しております
自分は得意なこと、思慮を欠く点があるため、注意して業務を行っているつもりですが、特に、逆に評価を受けるに値する部分は、ありません
自分は良い面を評価されるような人間ではありません。
自分も地域住民として生活しながら、住民主体の組織づくりに関わっていること。
自分や仲間と企画立案した事業が、住民にとってメリットがあり、住民生活を支援していること
自分を「誰から評価されたいのか」質問の意味がわかりません。自分を評価されるために仕事している…というニュアンスがないので質問の意味がつかめません。自分が、仕事で大切にしていること…ならあるけれど。
自分を評価する以前に、業務の評価が難しい、業務の評価をきちんと行い、成果をあげていけば必然的に自分の仕事は評価されると思う
自分一人では背負わないでみなさんに協力・相談させていただいています
自分個人としての評価そのもの以上に、関係するスタッフ全員で、企画運営し成しとげる内容の仕事の実施について
自分個人の仕事の評価ではなく、保健師のチームとしての仕事全般の評価を部・課長は行っていない。一きちんと現状を把握し、評価すべきと考える。
自分自身、今の職場に配属になり、1年未満であり、仕事を覚えることで精一杯である。
自分自身まだまだ足りないところがあると思うので、評価して欲しいというより、努力したいと思えます
自分自身評価できる仕事をしていない
自分達の仕事を評価してもらえるならわしかたを現状では出せていないことが課題と思う。
失敗が多く、目に見えるような成長はないかもしれないけれども、確実に日々の業務から多くの学びを得ていること。
失敗もあるが、努力もしているところ
疾病だけではなく生活基盤を含め生活全体をみて支援すること
疾病の罹患者に対する予防方法が実践され受診者が減少した場合
疾病患者に対し病気に対して少しでも不安が軽減されるように接している。
疾病予防について、その疾病の成り立ち体のしくみなど根拠をもって指導ができるようしていること。幼児のフォローについて、積極的に他機関との連携をもととしていること
質の評価 ex 訪問人員、回数といった数だけでなく、地区活動における、地区組織育成など
質問8-1.の項目のうち4.5.6.8.11.に関しては担当者間の話し合いを充分に行ない業務を執行している。新しい知識や技術の習得が必要な業務に関しては、極力研修会等に参加し、自己研鑽に努めている。保健事業を展開して行く上で視野を広くし、企画、評価するようにしている。
質問の意図がわかりません(評価者の対象が明確でないので書けません)
質問の意図が不明確 誰か何のために自分の仕事が評価されなければならないのか? そうした態度で仕事をしている覚えはない。公衆衛生政策として、科学的、合理的評価を考えるべきである
質問内容については、現在課題ばかりで書くことがありません。課題は住民の主体的活動を支援するための、リーダー育成や効果的な企画を検討することです。
実行力

実際に医療現場で勤務した経験もふまえ、医療職として市民や関係機関と関わり、ケースワークや事業の運営を行っていること
実施した事業の数ではなく、“利用者の声を活かした事業運営をしていること”で評価してほしい
実施した事業を個々の変化や、全体の統計的な変化をまとめて評価していること
実施した事業を統計的にまとめるだけでなく、問題点を抽出してよりよい方向にむけようと努力していること。前例踏襲にこだわらず前向きに考えようと努力していること
実施している仕事の内容があまり住民に見えていないように感じるので、相談できる機関である事をもっと多くの人に分ってもらいたい。
実施しなければいけない事業と地域の健康問題(統計上も含めて)とできるだけ結びつけて
実施に至るまでの過程 今後に向けての事業等の見直しをしていくとき
実施成果は、目に見えた形で、あらわれづらいが、関わった住民が、自分の行動変容につなげ、それを継続していけるために直接的・間接的に関わっている点
実績
実績(数値)だけで保健師の活動を評価しないで、日々の活動、全て(大きすぎますが…)について
実績だけでなく、内容やその過程。
実績をとりまとめて分析し、次の方向性を検討しているところ。
実態と住民の要望を把握した事業展開をしていること。他機関や住民との連携を大切に考えていること。
実態把握やニーズに基づいた業務を行ないその成果をまとめて評価していること
社会資源を開拓したり、住民のニーズをとらえた事業企画、運営をしていること
種々の保健事業のまとめ集計にかなりの働きがあります。その分析結果から次事業の企画に反映させていっています そのプロセスを評価して欲しい
種々組織の立ち上げ過程と他者より引継いだ事業の発展時
受け継がれた業務を同じように実施するのではなく、常に新しい事、スタイル、方法を考え住民にとって良いサービスを提供していくところ
受診率、参加率だけでなく、事業の必要性、住民の要望をもとに、事業に取りくんでいるところ。
受診率等の数値だけでなく、個々の事例との関わりの中で、予防的効果が見られる等地道な活動
周りから(職場内)保健師は何をしているのかわからない、と言われるので、せめて同じ課の人達にはどのような事業を行っているかだけでも理解して欲しい。専門職だからといって、そちらで勝手にやっというあつかいはやめて欲しい。
周りの評価はあまり求めない。自分の仕事を出来るだけしっかりしていきたい。
周囲から評価してもらえる程自分の仕事に自信を持ってない。
周囲と協調し、責任を持って仕事を行う
周囲のことを考えて、気を配っている。
集団と個別への関わり両方を通して地域全体の保健をみることが出来る
集団の中から個々のニーズをみつけ、支援につなげるようにしていること
住民(個人)や組織、地域が自らの力でQOL向上に向かって変化していく過程や結果とそれに果たした保健師の活動や機能を具体的に表現して評価したいし、してほしい。
住民(高齢者)の実態を把握している
住民(職員も含め)の持つ力を生かそうとする気構えが十分と思込んでいます
住民(担当する業務にかかわる難病、精神、知的、身体障害者)の声を大切にしていること 関係団体が楽しく意欲をもって障害者支援ができるよう団体としてやってみたいことを大事にし、応援できるような体制を整えていること
住民(利用者)が望む生活、その人らしい生活ができるように支援する…というあたりまえのことを大切に考えているところ。
住民、ケースの主体性を大切にしているところ
住民、ケース個人の声を大切にしている。
住民、患者の声を大切にしている事。
住民、市民の声を大切にし、事業の企画、運営に活かしているところ。
住民、相談者の声を聞く努力をしていること
住民、当事者の声をきき、事業に反映しようとしていること
住民・利用者にとって有効かどうか
住民1人1人とのかわりが基本となり日々の活動を行なっていること。目に見えた結果は、すぐにはあらわれないこと。
住民1人1人との接し方を大切にしている(あたり前ですが…)
住民1人1人と丁寧に関わり、ニーズを把握すること
住民1人1人に誠実に対応していること
住民1人1人のケースによって対処方法等は変化するが、そのために色々考えているんだという所
住民1人1人の声に耳を傾け、住民とともに、問題を解消して行こうとする姿勢
住民1人1人の声を大切にしていること。
住民1人1人の目標でその生活実態に即した保健指導をしていること。
住民1人1人を大切にし、ていねいにニーズに応じたいと思っているところ。
住民1人1人を大切に考えていること
住民1人であっても、親身になって相談に応じる

住民1人ひとりに合わせた保健指導を心がけていること
住民およびサービス事業者からの相談を受け、処遇困難ケースも時間をかけ対応していること。(他機関とのコーディネートなども含めて)
住民が、サービスに対して、どのように満足しているか、サービス量については、明らかにしやすいのですが、質についての評価がむずかしいと思います。出来高のみでなく、満足度もあわせて、客観的なデータが、集めてもらえれば
住民が、障害者が困っている時、支え自己決定できるよう、専門職としての知識を生かし対応していること
住民がいかに"楽しく""おもしろく"学べるか工夫しているところ
住民からの苦情、相談を傾聴し、事業に活かしていること
住民からの苦情が少なく、滞りなく事務処理がすすんでいること。(現在の仕事は、介護保険の認定なので、苦情が少なく認定が早いということは、住民の満足度とニーズにつながっていると思うので)
住民からの言われのない苦情に耐えたり、精神的ストレスや重厚感を感じながら日々の業務にとり組んでいること。また住民の声が、自治体の中枢部に届く様、出来るだけ細かに報告する事を心掛けていること。
住民からの行政に対する要望や苦情、またニーズに対して、住民の中に入りこんで情報を得ていること、声をよく聞いていること
住民からの信頼。
住民からの生の声に側して、ともに解決方法を考える努力をしていること。とくに個々のもつ力を引きだせるように常に考えている。
住民からの声を大切にし、事業に反映しているところ
住民からの声を大切にしていること。よりよい市民生活のために、事業内容を考えていること
住民からの訴えに対し、専門職として耳を傾け、住民の立場になって一緒に考え支援をしていること。
住民からの相談に対して、専門的に継続にとり組んでいること
住民からの相談や、支援を必要とする対象へできるだけきめ細やかな対応をしているところ。
住民からの直接の声を反映させて、事業化すること。
住民からの評価であれば、どんな仕事をしているのか理解してほしい。職場内であれば、保健事業の意味について理解してほしい。
住民からの要望に対し、迅速に対応するよう心がけていること
住民からの話をもとに優先順位をつけた企画立案をする努力
住民から最も手軽な相談窓口として活用して欲しいといつも願っていること。
住民が解決していない問題を解決するための教室等を検討するために情報を集めたり勉強会に出席し企画していること 出席者の人数のみで評価するのではなく質も評価してほしい。
住民が求めていることをじっくりと聞き、整理し個々の問題を明確にして解決策を提案していること。個々の声を聞いた中でその情報を保健事業に生かし還元していること
住民が健康に関心を持ち、いきいきとした生活ができるようにするために、行政としてできる企画、運営した事業を展開すること。
住民が健康上の悩みを相談できる専門職としてありたい。
住民が効果的に利用できる事業の企画
住民が自ら健康づくりに取り組み行動していける様支援できる専門職である事、時間がかかること
住民が主体的になれるように、より効果的な方法を考え、事業の企画運営を考えていること。訪問を少しでも多くし、住民の身近なところで個々へ関わろうとしているところ。
住民が主体的に健康づくりをすすめられるようにという側面的な活動。(直接サービスではなく、セルフケア能力を高めるための関わりは評価されにくいので。)
住民が心配なこと、困っていることには親味になって対応しているところ。
住民が保健サービスを心待ちにしていること、提供したときに喜んでいてくれること。
住民が満足できる内容の事業を企画・運営していること
住民サービスとしての保健事業のあり方について、ニーズに沿った方法を企画・運営していること
住民サービスとして現場でトラブルがおきないよう留意しているが、理不尽なことが多くなっておりストレスを感じる
住民サービスに徹していきたいという気持ち
住民サービスの最前線にたって仕事をしていること
住民サイドにたつたかかわり
住民サイドに立って仕事をしている事や、タイムリーな働きかけを行っている時などは評価してもらいたいと思う
住民さんの声を大事にして事業に結びつけていること
住民さんやケースのニーズをできるだけキャッチして支援していきたいという気持ちで仕事をしていること。
住民それぞれの生活感や感情を大切にしていること
住民といっしょに地域づくりをしたいと思ってますが、今はその関連の業務にいない 今はそれのための準備期間と考え、日々の仕事をしている
住民とかかわることで、住民の意識が変わったり、行動に変化があったこと 住民の声を反映させた企画をしていること
住民とコミュニケーションをとりながら、住民の生活をみて、それを事業につなげていくことができること
住民とコミュニケーションを図りながら、事業を実施し、評価していること。
住民としっかり向き合う姿勢
住民とていねいに関わっていること
住民とていねいに接するよう、心がけていること。実際の事業を直接見てほしいと思う。(いろんな人に)
住民とともに、事業を進めていくこと、ネットワークの力を有効に利用していること
住民とともに学んでいるところ 仕事を計画化して取り組んでいるところ

住民とともに健康なまちづくりをしようという思いで仕事をしていること。
住民とともに考え、作りあげる過程、単なる経験だけでなく専門的知識を活用しながら対応していること
住民とともに事業の企画運営をしていること
住民とともに自主グループ化の支援をしていること
住民との、かかわり、人間関係の構築について
住民とのかかわり
住民とのかかわり
住民とのかかわり、住民の声を大切にしていること
住民とのかかわり、声を大切にしていること
住民とのかかわりで、住民の意識がかわってきた部分(事業として立ち上らないまでも)
住民とのかかわりの中で、住民の声を聞くことにより、現状を把握し、課題を整理し、その解決(施策化する)をはかるために行動すること。
住民とのかかわりの中での信頼関係
住民とのかかわりや、事業の企画・運営について
住民とのかかわりを大切にし、その声をスタッフに伝えていること
住民とのかかわりを大切にしていること。
住民とのかかわりを大切にしていること。特に母子の事業には丁寧にとりくんでいて(全体として)今の虐待予防や、育児不安解消にも多に役立っていると思う。
住民とのかかわりを大切にしていること
住民とのかかわりを大切に現職の業務の中で仕事をしていること。
住民とのかかわりを通じた地域活動
住民とのかかわり方
住民とのコミュニケーションを図ることにより、組織化させていくこと
住民とのコミュニケーションを大切に、そこから地域の問題点等を把握するように心がけている。内容にもよりますが地域から依頼されたことは、できるだけ断わらないよう心がけている
住民とのちょっとしたかかわり(人間関係)が相手の気持ちを元気にする事ができそんな、なにげない日常のかかわりから健康づくりを支援している事。数字ではあらわしにくい心理面のケアをしている事への評価
住民とのつながり
住民とのつながりを大切に信頼関係を築こうとしていること。
住民とのパートナーシップを大切にお互いの役割を確認しながら実践を積み重ねていること
住民とのふれあいを大切にしていること
住民とのやりとりを大切にしながら、地域の特性に合わせた健康づくり活動に取り組んでいること
住民との会話をなるべく聞くようにしている姿勢
住民との活動
住民との関りから、得た情報を基に事業の企画・運営をしていること、知識伝達だけでなく住民の声を聞く姿勢を大切にしていること
住民との関わり
住民との関わり
住民との関わり
住民との関わり ニーズへの対応
住民との関わり(ソフト事業は物質的には見えない)
住民との関わり、受容の仕方
住民との関わり、住民の声を大切にしていること。
住民との関わり、声を大切にしていること。
住民との関わり。住民のスキルアップ支援や健康の維持・増進などが、町づくりの一環になり地域全体の活性化につながる可能性があること。
住民との関わり:そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること
住民との関わりがとても根強い仕事である。健康に関するほんのささいな心配事から、家族内の問題などのプライベートなことまで、住民の一番身近な相談役として地域に密着した活動を行っている。また、地区担当制としてのフォローになると、住民と1対1での関わりが主となって。個別的な対応が求められ、精神的な負担を強く感じる、責任が重い仕事であること。
住民との関わりから、少しでもニーズに答えられるよう事業を考えていること
住民との関わりから得たこと、問題としてとらえたことに対して保健事業や個別対応などで、対応しようとしていること。
住民との関わりから得た情報を基に事業の企画、運営をしていること
住民との関わりが多い職種であり、保健事業をすすめる上では人づくりがとて大切である。住民の支援者として事業を企画、運営していること。
住民との関わりが多く、声や生活等の情報をたくさん持ち、困難事例を難なく解決していること。そして、これらの情報を事業化していること
住民との関わりで、保健師自身が目立つ存在では無いため、あまり評価の対象としてみられないが、実は頑張っているところ。
住民との関わりと事業の企画・運営
住民との関わりによって事業運営していること

住民との関わりに重点を置いているところ
住民との関わりの中から、どんなサービスが必要なのか…という声を行政に伝えていくこと
住民との関わりの中から数値にならないような成果などの評価を理解してほしい
住民との関わりの中で、住民と一緒に地域の健康問題をとらえ、住民主体の活動を進めているところ
住民との関わりの中で、住民の自主性やアイデアを尊重し、そのための対応・声かけなどを心がけていること。
住民との関わりの中で、住民自身が持つ力を生かし、のばす保健活動を心がけていること。
住民との関わりの中で、悩み、相談に対応し、保健活動の一端をになっているところ
住民との関わりの中で得た情報を健康問題に結びつけながら事業の企画運営へと展開していくこと
住民との関わりの中で得た情報を事業の企画、立案へ活用していること
住民との関わりの中で得た情報を事業の企画に反映することに心がけていること。
住民との関わりや、アンケートの集計等を事業に生かしているところ
住民との関わりや声を通じて、事業展開をしたり、他職種と連携しながら、個別な問題解決等していること。
住民との関わりや対応 予想以上に電話相談や窓口対応が多いこと
住民との関わりをした結果が、なかなか客観的には効果が見えにくい部分
住民との関わりをまじめにし、声を大切にしていること
住民との関わりを多くし、そこから得た情報や住民の声をなるべく取り入れ、地域保健活動へとつなげていっているところ
住民との関わりを大事にしているので住民の反応、声
住民との関わりを大切に、地域全体を見る事業を実施していること
住民との関わりを大切に、ニーズに沿った事業を展開していること
住民との関わりを大切に、住民が要望する企画運営を心がけているところ
住民との関わりを大切に、他職と常に連携をとり活動しているところ
住民との関わりを大切にして、担当業務を責任をもって運営していること、得た情報を次の企画・運営に生かしていること
住民との関わりを大切にしている
住民との関わりを大切にしていること
住民との関わりを大切にしていること
住民との関わりを大切にしていること
住民との関わりを大切にしていること。(コミュニケーション)
住民との関わりを大切にしていること。また、その関わりの中で、住民のニーズを把握するよう努めていること。
住民との関わりを大切にしているところ
住民との関わりを大切にしているところ
住民との関わりを大切にしているところ。日頃の業務の中での課題をみつけ、解決するために取りくむところ。
住民との関わりを大切にしながら活動しているところ
住民との関わりを大切にしながら地区活動や保健事業を行っている所
住民との関わりを大切に
住民との関わりを大切に事業をしていること
住民との関わり方
住民との関わり方(住民組織)、相談体制
住民との関わり方、それによって施策をどのように立案実施していくか、ということ
住民との関わり方～どのような対象にかかわり、どのような対応をしているのか 事業の企画・運営の状況
住民との関係づくり
住民との協働(特にボランティア)
住民との係わりを大切にしていること。
住民との係りかかわりから事業内容を見直していこうとしているところ
住民との信頼関係 専門職として頼られる職員
住民との接し方
住民との接点を大切に、そこから多くの情報を得ようとしていること。
住民との対話の中で、ゆっくり話を聞き、相手の存在を認め、意見をうけとめた上で、判断し、助言していくことを心がけていること
住民との対話を大切に、ニーズを的確に把握していこうとしていること。
住民との直接的なつながりの中から、住民のことを一緒に考えたり、よりよくなるために、人と人をつなげたりすること。統計や、アンケートから、次の企画、事業につなげ、運営すること
住民との直接的業務

住民との様々な健康相談に対する対応、保健指導等
住民とふれあう機会の多い職種である為、生の声や現状からの声をもとに事業を組み立てているところ
住民とゆっくり話をして、聞くところ
住民と一緒にひとつひとつの事業をつくり上げていくこと
住民と一緒に健康づくりに取り組んでいること
住民と一緒に健康を目指していきたい、という願いをもって、日々取り組んでいるところ
住民と一緒に考え行動しているところ
住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画、運営をしていること
住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること
住民と関わり、子ども達が健やかに育ち、人々が健康で暮らせるように支援していること
住民と関わり、住民を対象とした事業を企画、運営、展開できること。
住民と関わりその住民の問題や困難に思っていることの相談に応じて対象の住民がいくらか安心、納得して相談できていること
住民と関わりをもち個々に合わせた対応をしている
住民と関わり仕事をしていること
住民と関わり住民の声を大切にしながら事業実施している(地区把握、地区診断)
住民と関わることで、その抱えている問題やニーズを把握しどのようにしていったらよいかを考えていくこと。
住民と関わる時に常に住民の気持ちになって考えること、看護医療の知識をうまく住民が受け入れられるようにすることを同時に持ちあわせ仕事をしていること
住民と関わるのが私の仕事 待てるのではなく、こちらから入っていくことが一番むずかしい 住民からの税金を生かした仕事 役に立つ仕事 又自分達をわかってもらえるようにしなければならない
住民と関わる際に、住民主体に考えようと努力している所。
住民と関わる際住民が安心して話せるような雰囲気づくり、傾聴することを心がけ、対象者をよく観察し援助に結びつけようと努力していること。
住民と関わる姿勢
住民と関わる時は、一人一人に誠意をもって、その声を大切に
住民と関わる中で、住民のニーズ把握し、そこで得た情報を事業の運営に活かしていること。
住民と含め、ネットワークづくりを大切に、それぞれの役割や能力を発揮しやすいようにしている。
住民と共に活動し健康づくり、保健事業に取り組んでいる点
住民と共に行うソフト事業。結果は、ハード事業のようにすべて数値で容易に表わせるものだけではなく、住民のすこしの変化を大事にしてほしい(保健師の評価の仕方にも問題があるのでは…)
住民と協同しながら事業の企画、運営、評価する事業
住民と個別に関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
住民と向き合い、ニーズに合った、サービス展開をしようと努力していること。十分住民の話をきき、相手との信頼関係を早期に築き、早期介入ができるように努力していること。
住民と実際にかかわることを努力している
住民と諸制度や諸マンパワーをつなぐ潤滑油となっていること。
住民と情報交換をし信頼関係を築きながら共同で個あるいは集団でアプローチできる状況を作っていくこと
住民と身近な所で接点をもち活動している職種なので、住民のニーズをできるだけ活動に反映させようとしていること。
住民と声を大切にしていっしょになって保健上のことがらを考えていく
住民と接し悩みや相談にのっていること
住民と接することを大切にしそこの生の声を行政に生かしていること
住民と接するとき、ていねいに、迅速に対応し、住民の声を基に、事業を展開していること
住民と接する中で住民の不安を少しでも軽減できるよう言葉かけ等、気を遣っているところ
住民と直接に接している分、現状や声をきけている部分
住民と直接、その現場で関わることにより、そこから得た情報を基にいかにも、その人の生活に応じた援助ができるか企画できること
住民と直接かかわりのある部署からの情報や、地域で活動している関係職種からの情報等を、現在携わる業務に生かすようにしている。(今まで関わってきた人達とのネットワークが、今の業務にも反映できている。)
住民と直接かかわる仕事を通し、生の声や生活を業務に生かしていけること。
住民と直接関わり、そこから得た情報を基に事業の企画、運営をしてきました。就職してからの16年間で、多くの事業を現実化してきましたが、上司の理解と職員の協力があつたからこそだと思います。
住民と直接関わり、そこから得られた住民のニーズや情報をもとにより地域住民が生活しやすく調整、コーディネートしていくこと。
住民と直接関わり、業務に生かしていこうとしているところ。地域の実態を知り直接的なケアの積み重ねから行政施策に生かしていきたいと考えているところ
住民と直接関わる時間を多く持つように心掛け、住民の生活を把握したり、声を聞き、住民が身体的、精神的、社会的に健康で暮らしていけるためには、何が必要なのかを視点に置き事業を企画、運営していること
住民と直接関わる専門職として、事業の企画、運営をしていること
住民と直接接し、1人1人のニーズを充足できるよう働きかけて行ける所
住民と直接接し、暮らしを健康の視点からとらえる力と情報を蓄積している。市政の計画全般に役立つ重要なことだと思う
住民と直接接するような、事業計画づくり、実施に努めていること。

住民と直接接し、住民の要望や実態を把握している。専門職として日々勉強もして、努力していること
住民と直接対話等しながら、事業展開をしているところ。また、予算は低額であっても、事業展開し、内容は住民のためになっている。そのため、数字だけをみて評価ではなく、きちんと内容もみて評価してほしい。
住民と同じ視線で地域をみることに加えて専門的な立場から地域に合ったタイミングで問題解決にidonでいること。
住民と同じ目線でかかわりたいと思う気持ち
住民と同じ目線に立ち、訪問や各保健事業に取り組んでいること
住民と密に関わり、住民の声を大切にして、判断し、事業を行ったり、活動していること
住民と話し合い、住民の意向を反映した内容で仕事を組立て実施している
住民など個別の関わりを大切に、それを地域の声として関係職種に伝えていること
住民に、わかりやすく楽しい健康学習(情報)を提供しているところ 参加者がストレスが解消できるような企画(体ほぐし、ふれあいレク、歌等)を毎回取り入れて実施しているところ 精神障害者の不安や悩みに、いつも受容的に対応しているところ 住民の心の健康づくりを目的とした事業を展開しているところ
住民ニーズに基づいた事業・企画・運営を行ったら評価してほしい。
住民ニーズに基づいた事業の企画、運営をしていること
住民ニーズをとらえ将来の課題をみつけ事業化して取り組んでいるところ
住民ニーズをまとめ次期の企画への課題提起をした
住民ニーズを行政サービスとして、保健事業を展開していくこと(現状では、PHNなりの視点で提案しても周囲に認められず、思うように事業が展開できないまま)
住民ニーズを大切にしていること。
住民にとってよい成果となることを期待し、努めるが、評価ということではあるところはない。
住民にとってよければよい。
住民にとって何が大切か、何を必要としているのか、常に前向きに考えている姿勢
住民にとって何の事業が必要か事業実績、統計、住民の声等を参考にしながら、最小限の予算で効果的な方法を考えて実施していること。
住民にとって求められる健康増進、維持の場を考え、地区の組織と協力して、生み出すことへの努力
住民にとって結果的に良い方向に向うことかどうか(自分自身の評価としては...)
住民にとって最善の手段がとれるよう、他機関と連絡、連携をとり、保健事業、相談事業等、すすめようとしていること。
住民にとって身近な存在であるよう、活動していること。
住民にとって身近な存在として感じてもらえるよう小さな会にも顔を出し話し合いの場を持つようにしていること。
住民にとって身近な存在と認識されて仕事ができること。住民の満足度を考えて事業をすること。
住民に押し付けのない仕事
住民に関わる中で“生活を支援する”という生活者のビジョンを活かし、住民サービスに還元したいと考え、事業の企画・運営をしていること
住民に近いところにいて、直にその声がきける位置にいますので、そこから事業の企画をしているところ。
住民に行うサービス等により、満足度や、統計的な変化が出るように、意見を大切にしていること
住民に最も近い行政職員として住民の声を反映した事業の企画・運営をしていること
住民に最も近く接することができる職種であることから住民の意見に最も近い対応をするよう努めているところ 私利私欲のための要求は、していないところ(予算や内容)
住民に自主性を持って行動できるよう支援することの大切さを知ってほしい
住民に身近なサービスを提供する者として直接住民に接し声を聞き、行政施策とのパイプ役としている所
住民に身近な専門職として関わり、個人の健康の向上に貢献できたような所
住民に誠意を持って対応していること。
住民に誠意に対応していること
住民に接する最前線、住民サービスに重点をおいて取り組んでいること。(接遇も含めて)
住民に対し、真摯に接し、応えようとしていること
住民に対し、専門技術を提供しようとしていること。住民にとって何がなかで、仕事を考えていく姿勢。
住民に対して誠意をもって対応する
住民に対して丁寧に接するように心がけている
住民に対して丁寧に接するように心がけている
住民に対して適切にサービスが提供されているか
住民に対し声をきいていること
住民に対し誠意をもって対応していること。
住民に対する接し方、常に相手の気持ちを配慮し、対応するよう心掛けている。
住民に直接接し、声を聞き支援をしている事
住民に必要なサービスかどうか、自分では評価しづらいが、もしわかるなら、必要とされていることが、わかること。
住民に必要なものをコーディネート、企画していること
住民に必要な活動ができていますか！(今はできていないので今後のばししたいところ) 専門的知識をもって、住民の力が発揮できる関わりができていますか。

住民に不利益とならないように、課内の職員に迷惑がかからないように情報を共有できるように心がけている。
住民に密接に関わる中で得られる住民の特色を生かした保健活動を実施しようと努力しているところ。
住民に密着したサービスを行うように心がけていること
住民に密着した直接的なサービスを提供すると同時に、集団、地域という広い眼で健康課題の考え、解決のための施策をうち出していくこと。
住民の1人1人の貴重な言葉(意見)に耳を傾ける姿勢。
住民の1人1人の声を大切に考えているところ。関係者との人間関係(円滑に仕事ができるように配慮している)
住民のNeedsを常に考えて、仕事をしていること。予防的視点で事前対応型の活動を努力していること
住民のこぼれ、相手の身になってよく聞くこと、そこから、事業の見直しを行うこと
住民のことを思いやる態度を示し、責任をもってよりよいサービスを提供しようと努めているところ。
住民のために仕事をしているところ
住民のための保健活動を行なっているところ
住民のために思い、よりよい業務、事業のあり方、自分のふるまい方について、いつも気をつけているところ
住民のとても近い所で仕事をしている所
住民のニーズ・声を大切にして、地域へ介入していること。
住民のニーズにあった、保健の知識、経験をいかした企画・運営
住民のニーズにあったサービスが行えるように、住民の声を大切にしていること。
住民のニーズにあわせた支援をおこなっていること
住民のニーズにあわせて事業の見直しをしながら企画に力を注いでいる点
住民のニーズにそった支援をしていること
住民のニーズにできるだけ応えようとしているところ。
住民のニーズに沿ったサービスを常に考えている所 公僕として、常に公平な視点を大切にしている所
住民のニーズに沿った事業・事業展開していくためにどうしたらいいか今の状況で満足することなく、評価しようと(できないことも多々あるが)していること
住民のニーズに沿った事業を行えているかどうか。
住民のニーズに沿った事業内容
住民のニーズに応じた企画等。
住民のニーズに応じた保健活動
住民のニーズに見合ったサービスを提供できているか
住民のニーズに合った事業の展開を進めていること
住民のニーズに耳を傾け、解決策を考える努力をすること
住民のニーズに対応した事業実施を心がけ、改善、提案していること
住民のニーズに対応して新しい業務に取り組みその成果があらわれた時や住民に喜ばれた時に評価(+)をしてほしい。
住民のニーズに答えた仕事をいくつかしている事
住民のニーズに答えられる様事業を企画・運営していること。
住民のニーズに答えるべく、密接な関わりを重視していること。
住民のニーズやケアマネジャーの抱える問題点など協議における課題を把握し、そこから得た情報を基に事業の企画・運営予算化などを行っていること
住民のニーズや声を最優先に計画、立案、事業実施をしている。
住民のニーズをすばやくキャッチし ニーズの内容と客観的データetcからアセスメントし、事業の企画・運営を行っていること
住民のニーズをとらえようと日々模索しながら、そこから個別援助や地域へのサービスを考えて業務を行なおうとしていること
住民のニーズをとらえ課題事業を企画していること 困難事例に対して関係機関との連携で処遇していること 住民の相談(総合)の窓口になっている
住民のニーズをとらえ事業に繁栄しているところ
住民のニーズをとりあげて業務に生かし、企画できているところ
住民のニーズをもとに事業の企画や運営を実施している。また、子育て支援、障害者支援等個々の対応もきちんとされていると思うが、介護保険関係の事業と比べてヘルス面は地味である、着実に効果をあげていることを評価してほしい。
住民のニーズを基本におくこと。
住民のニーズを業務に反映させていること。
住民のニーズを考えながら、事業を展開しているところ。
住民のニーズを行政政策に結びつけ支援費制度の充実に取り組んでいる所。
住民のニーズを察知し、それに対応していく力量と判断力
住民のニーズを大切に
住民のニーズを大切に、共に実現させていこうとしているところ。
住民のニーズを大切に、他機関と連携をとり支援しているところ。

住民のニーズを大切に、サービスを提供していること
住民のニーズを大切にしていること
住民のニーズを大切にしていること
住民のニーズを大切にしているところ
住民のニーズを把握し、看護や医療の知識を生かして活動し、効果をだしていること
住民のニーズを把握して、それを健康づくり事業にいかしているところ
住民のニーズを把握して仕事
住民のニーズを把握して事業の方針を決定し、実行していること
住民のニーズを把握しながら、組織づくりを意識していること
住民のニーズを把握し必要な事業を運営すること。住民の力を引き出すこと。
住民のニーズを良く把握しているのは、在宅介護支援センターだと思う。在宅介護支援センターからの住民のニーズを聞き、支援しているつもりでいる。しかしもっと要望とニーズの違いを把握して、適格に支援出来たらと思う。
住民のニーズや保健福祉の動向など考慮し、他の職員と協力し事業を実施できていること
住民のニーズを感じとり業務に反映させ充実させていっていること
住民のプライバシーを守りながらも、住民と共に歩むことを基本に業務をすすめていること。
住民の意をくみ取って事業へ反映させているところ
住民の意見、生活スタイルなどを把握し事業運営しており住民から評価を得ているところ
住民の意見、要望を尊重し、可能な限りそれに応えようと努めていること。
住民の意見や地域の状況を考え業務をしていること
住民の意見や要求が地域をよくしていくものであった場合、事業にいかしていける窓口となっていけるところ
住民の意見をきき、常に住民にとってよりよいサービスを提供しようと心がけていること
住民の意見をよく聴き、住民の立場に立った事業を実施していること 関係機関や住民ボランティア等と連携を図りながら事業を展開している
住民の意見を基に事業を企画・運営していること。それが予防的な視点に基づくこと。
住民の意見を充分に聞き、ていねいな対応をしていること。
住民の意見を尊重して進めること。
住民の意見を大切に住民との関わりを深め事業に生かしていく
住民の意見を大切に地域の状況(統計等)を見ながら事業に反映させようとしているところ
住民の意見を聴くことに心がけていること
住民の意見を聞く機会が、多いので、それをもとに事業を企画しようとしていること。
住民の為に誠心誠意仕事しているところ
住民の皆さんの声を大切に仕事をしているがその辺の評価は出にくいし、相手にも見えないところであると思います。また、その評価をわかりやすく表面に出すことも、自分の苦手としているところでもあると思います。
住民の感性や気持ちを大切に、できるだけそれを伸ばすように配慮している
住民の関わりの中から学んだことを事例の中に還元していること。
住民の希望や要望を大切に、それをできるだけ生かしたい、と考えていること。仕事に対して真面目に取り組んでいること。
住民の気持ちを重視して対応している点。
住民の気持ちを尊重した関わりをしているところ。
住民の気持ちを大切にしていること。
住民の気持ちを大切にしていること。
住民の気持ちを大切にしよう心がけている。
住民の健康づくりに貢献していること
住民の健康づくりのために、保健事業の実施や事務のみでなく、統計処理等に時間を要すること、個人への相談、訪問等は、時間を要すること
住民の健康づくりを支援している専門職であること。
住民の健康に関するお手伝いができる専門職であり、コーディネーターとしての力量があること。
住民の健康に対するニーズは何か、情報収集に心がけ、サービス向上に生かせるよう心がけていること
住民の健康に対する意識を向上させ、そのためにいろいろな事業を計画して、実施していること。特に事業内容を工夫して実施していること。しかし、事務職には、数字的なもののみ見て、評価されるので、苦しい面がある。
住民の健康の維持、向上のため、住民の声や地域の健康データなどの情報を基に、事業の企画・運営に努めている
住民の健康の保持増進に寄与していること
住民の健康を向上していく為、住民と協力して行きたいと考えていること
住民の健康を支援する専門職として、予防活動や、必要なケースへの健康上の支援をしていること。
住民の健康を守り、予防活動として、必要とおもわれる事業を企画運営していること
住民の健康を守るために働いているということをもっと知ってほしい。

住民の健康を守るために保健事業を展開しているということ。
住民の健康を守る専門職として、どんなケースにもまず訪問し状況を確認、判断し対応できること。またこれから起きるであろう問題を予測し、予防のための活動ができる事。
住民の健康を第一に考え、心身のサポートを図っている。住民の求めているサービスを考え、提供しようとしている
住民の健康管理のため、必要な助言指導・保健指導を行い疾病予防につなげている。保健事業、住民の健康管理を円滑にするためデータ蓄積・統計処理のためのシステム開発と運営を行う
住民の健康管理を住民と関わり、住民の声を大切にしながら実施していること。
住民の健康増進のために様々な事業を企画・実施していること。
住民の健康増進のため予防活動に重点をおき、住民自らが実践できる支援づくりを大切にしていること
住民の健康度のあげるために事業等実施していること。
住民の健康問題をみつけ地域にかえしていくこと
住民の健診結果等の統計から事業を企画・改善・見直しをしている点
住民の幸せを最優先に考えている事業を考えている。
住民の行動変容に対して、指導ばかりではなく、自分のペースに合わせて行えるよう、見守っているところ。
住民の困っていることや悩みなどに耳を傾けて、専門職として支援していきたいと考えながら関わっていること
住民の困難事例ケース等専門職として、他職種等と連携し、時間はかかるが支援していること。を理解してもらいたい。
住民の最も身近な立場におり、様々な声を聞くことができること。
住民の思いをきき、できる範囲で、そえる活動をしたいと思っている
住民の思いを受けとめ住民主体の自主的な健康づくりを目指していること。
住民の思いを大切にしていること
住民の思いを大切にしていること。
住民の思いを大切に職場の中の雰囲気や良くなるよう気を配る努力をすること等、一つの仕事(ケース)に対して丁寧に対応すること
住民の視点、声や現状をできる限り客観点に見ていく事や、今後の展開をふまえて、問題提起ができるよう統計処理を実施していること。
住民の視点からどのような保健サービスが求められているか常に考え、改善できる点は実行していること
住民の視点から事業を見ていること、その上で住民に関わるようにしていること
住民の視点での仕事のあり方
住民の視点で業務を行っていること
住民の視点で考え、関わりも即対応するようにしている
住民の視点で事業展開しているところ、長期的な見通しをたて、段階的に取り組んでいるところ
住民の視点で役場を見ることが出来る点
住民の視点と行政の立場の両面から考えていること。
住民の視点にそった、アドバイス、サポートを行うこと
住民の視点にたつて、保健事業を展開しているのに加え、それに併う事務事業も並行して行っていること。
住民の視点にたつて考えてみて、それをできるだけ業務に生かしていこうという姿勢
住民の視点に立ち仕事をしている
住民の視点に立った情報提供や事業の企画、運営にこころがけているところ
住民の視点に立って、相談にのっていること
住民の視点に立って考え、事業の運営をしていること。
住民の視点に立って仕事の計画、立案をすること。
住民の視点に立って仕事をしていること。
住民の視点に立って状況を把握し、事業の取り組みをしていること。
住民の視点を大切にしながら、仕事をしよう心がけている点
住民の持つ問題の内容が複雑化、多様化し、問題解決にも時間を要することが多いので、統計的な数だけで評価せず、質的な面も評価してもらえたらいいと思う
住民の自主参加による組織化された活動の展開への支援
住民の実態(声、思い…)を把握するように努め、事業の企画、推進に努力していること。
住民の実態・状況をふまえた事業の展開
住民の実態を把握し、行政に反映しようとしていること 関係職種の連携をはかりながら住民の生活を支援しようとしていること
住民の主体的な意見や活動に重きを置き、保健サービスを企画、計画、実施していること
住民の将来が幸せであるように考え、住民の声を最大限に生かした施策を実践していること。住民の健康こそが、将来の市の発展のために不可欠であるということを理解して欲しい。
住民の情報を有機的につなげて援助しよう心がけていること
住民の信頼度により評価してもらえるようになったら良いと思う
住民の身近なところで、小さな援助をコツコツしている縁の下の力のような仕事をしているところ、住民の声を大切にしていること

住民の身近な支援者としていつも現場に出向き、現状を見聞していること。
住民の身近な相談できる専門職として保健師の役割が大きい。
住民の人が主体的に考え、自分達でまちづくりを考え行政と協働して実施していくこと。地域の声、実感を把握しつつ環境整備(多機関、他部署)を共に考え施策化していく活動と思うが、転勤も早い為困難である
住民の人とのふれあいを大切に、なるべく一人一人の意思が尊重されるように気をつけていること。
住民の人に対して充分な対応ができて、又、充分でなければ充分な対応をしようとする努力をする所
住民の生の声(小さな事柄でも)をとて大切に、共感を持って事業に生かそうとする点
住民の生の声(特に困っている人の声)をきくことが多いので、それを生かした事業の運営
住民の生の声から、ニーズを導き出せるような視点に立つことを心がけていること。無条件に住民全てを健康づくりの対象としてとらえる姿勢でいること
住民の生の声に耳を傾けている姿勢は評価してほしい。住民からの声について、調査が必要な物については、できるだけしている。
住民の生の声をもとに公衆衛生活動の展開をめざしているところ
住民の生の声を生かしていくこと
住民の生の声を大切にしていること
住民の生の声を大切にしながら事業に携っている姿勢を評価してもらいたい。
住民の生活、視点に立った活動
住民の生活がよりよいものとなるよう、住民のニーズを知り、分析した上で仕事を組み立てていること。又個別の相談に対応していること
住民の生活に合った支援を心掛けていること。
住民の生活の質の向上を観点に評価してもらう
住民の生活の実態や、生の声を活かした事業を企画し予算獲得したり関係機関と協力していること
住民の生活の実態をみつまめ、ニーズに促した事業をしていけるように、評価し改善している視点をもって、住民と関わり、支援、事業を実施していること。個別支援の際には、常にその人の生活を含めた多角的な視点で相手をみていく意識をもって、関わること
住民の生活の場での接点が多いので、その人の生きていた歴史や家族関係も含めた支援ができること。また個別の事例をつなげることで新たなサービスを作りあげていけること。
住民の生活の場に入り、そこからきかれた住民の声を生かせるよう事業を企画したり、業務を行っているところ。
住民の生活の場に飛び込んで行け、住民の本音を聞ける。その情報を基に、個々の生活レベルを上げられるよう、コーディネートする。
住民の生活の中から、肌で感じとったことを行政に反映させること
住民の生活をしっかり捉える視点。
住民の生活を見、把握した上で事業の展開・保健の視点のみではなく、幅広い視点で地域を分析し、関係機関と結びつけていけること
住民の生活を把握し、情報提供しながら生活改善策に取り組んでいること
住民の生活視点に立って、健康づくり活動していることが、住民が安心して住めるまちづくりにつながっていること
住民の生活実態を知り、今何が生活上の問題であるのかを考え行政としてどのような対応ができるのかを提言し事業化にむずびつけていけるような仕事をしたいし、評価と言うより上司からの協力を得たいと思っている
住民の生活全体を通して個々の状況に合わせて健康支援を行なっていること、その個を通じて専門的視点から地域全体の支援へと、事業の企画・実施を行なっていること。
住民の生活全般を捉えた事業を推進していこうとしていること
住民の声
住民の声(相談)を大切にしていること
住民の声、ニーズを施策に反映させたいと常に思っていること 現場の事業に携わっている人の声を大切に思っていること。
住民の声、意見が生かせる。
住民の声、関係機関団体等の生の声を聴き、最も住民が生活上必要な住民サービスを活かに効率的にできるか、それらの情報を基に事業の企画運営をしていること
住民の声、考えをよくきくようにしている、今後、事業につなげたいと思っている
住民の声、生活を大切にしているところ
住民の声、地域の声を大切にしているところ
住民の声、地域の要望を取り入れながら、計画し活動していること。
住民の声・ニーズ、他機関が考えている住民に必要なサービスへの思いを大切にしている。
住民の声がいちばん入りやすいところであること(住民にいちばんちかくで活動している、住民組織との連携を密にしている)
住民の声からや、業務上感じたことから業務を工夫したり、従来にとられることなく、時代に合うよう変化する姿勢でいるつもりです。
住民の声から他機関を巻き込んで調整・企画していること、困難ケースへかかわる際などに、サポート体制をとっていること。
住民の声が一番とどきやすい仕事をしていること
住民の声が生かされた、保健計画の基に行務を行なっていること。
住民の声が聞けるよう、関係づくりを大切に、その声も大切にしていること。
住民の声と、専門職としての視点を大切にしている事
住民の声と、統計等からの分析をもとに、事業を実施していること。
住民の声にしっかりと耳を傾ける
住民の声に耳を傾けより良いサービスが提供できるよう努力しているところ。

住民の声に耳を傾けより良いサービスが提供できるよう努力しているところ。
住民の声に耳を傾むけ、少数の意見も大切にしようとしている。
住民の声に対して、気軽に動けること。地域の問題点を促える視点。
住民の声も大切にしながら、事業を実施していること
住民の声や、データをもとに事業の企画・運営をしていること。参加者が少なくても必要と感じ事業をしていること
住民の声や、現在ある事業の問題点や改善点等を解消するために、内容を検討していること。
住民の声や、生活を重視し、ケースのQOL向上を一番に考えていること
住民の声や、日頃の訪問活動から得た情報と傾向から、住民にとって必要な事業を展開していること。
住民の声やニーズを把握できるように地域に出てゆくことを大切に、それを施策や事業として企画していこうとしていること。(しかし、人材不足や予算等の関係もあり実施できにくい現状でもある。)
住民の声や気持ちを親味になって聞きとるように できるだけしているところ。集団の場であっても、全体の様子をよくみるように心がけている。
住民の声や苦情などを大切に、その声を事業の企画・立案に反映させること限られた予算・資源の中で、有効にそれらを利用し事業を〇年計画など戦略をもって展開すること
住民の声や現状を基に(大切に)、事業を展開していること、また、保健師が指導的立場で動くのではなく、住民とともに動いていること
住民の声や思いを大事にし、地域とともに活動しているので数値的評価がしづらいが、生活の質の向上を評価してほしい
住民の声や資料をもとに判断し、地域の状況にできるだけそぐうように目標掲げて仕事をスタッフと協力しながら行っていること。
住民の声や職場仲間の意見などを大切に、前向きな意見として取り入れようとするところ
住民の声や統計資料を基に実践科学的に事業をチームで行なっていること。
住民の声や反応での評価
住民の声や反応を大切にしている事や、住民の立場に立って、事業を計画進めていること
住民の声や不安を聞き、健康づくりを支援していること。
住民の声をアンケート等で聴きながら常に業務の見直しをしていること
住民の声をきいているところ。対応。行動にうつしているところ。
住民の声をきき、それを主体に事業を展開しようとしているところ。
住民の声をきき、活動に生かそうとしているところ
住民の声をきき、業務の中で住民のニーズをきき業務を改善しようとしているところ 新しい専門的知識を常に得ようとしているところ
住民の声をききとり、仕事に反映できるところ
住民の声をききながら、専門的知識をふまえた活動を行っていること
住民の声をききながら、話し合いを続け、自主組織活動事業が開始されたこと
住民の声をきき住民のニーズを見極め、住民と共に地域の健康づくりに考え、活動に取り組んでいること。
住民の声をききだけでなく、専門職として助言したり、地域にとってどんな資源が必要か考えている
住民の声をききこうとすることを大切にしている点
住民の声をききこうとすることを大切にしている点
住民の声をできるだけ多く聞きとり、それを基に地域での困りごとを、地域で解決できるような地域づくりに力を入れていること。
住民の声をできるだけ大切にしていること。
住民の声をできるだけ大切にするとともに公平性を保つようしている
住民の声をできるだけ聞くようになっていること
住民の声をとり入れながら、住民にとってより良い事業となるよう計画等を行っている。
住民の声をまず第一に考えていくこと。
住民の声をもっと上司にきいてほしい
住民の声をもとに事業を展開していること。
住民の声をよく聞いて、業務の中に反映させていくこと(個別相談や面接etcを通し)
住民の声をよく聞き、誠実な態度で接しようという心がけている 物事の判断を主観的に評価するのではなく、なるべく科学的、客観的、法律に沿った判断をしようと思っていること
住民の声をよく聞くようにし、ニーズに合った対応をしようという心がけていること。
住民の声を一番大事にすること 住民の立場を常に考えること
住民の声を一番大事にすること 住民の立場を常に考えること
住民の声を確かに聞き取り、住民の日常の中にそれらの声を反映させた事業を企画・運営していること。声の小さい弱者の代弁者としても、行政者として関係各機関と連携を持っていること
住民の声を活かした保健活動を行っていること
住民の声を吸い上げながら、実際に足を運び、地道に活動したいが、現実には、日々の業務におわれている。時間のない中でも、保健師だからこそ、住民の声を大切にでき、伝えられるということを見てほしい
住民の声を吸収し、それを基に事業の企画・運営・評価しているところ。
住民の声を吸収できること それを仕事に活かしていること。
住民の声を業務へと取り入れていること

住民の声を形にし、仕事を通して喜んでもらえていることがあること 結果として出てくるまでのもの事の過程
住民の声を事業に反映させるよう心がけている
住民の声を事業に反映させるよう心がけている
住民の声を事業に反映していること。
住民の声を事業の運営等に反映できるよう努めている。事務職の仕事もできる範囲でさせてもらっている。
住民の声を事業の企画、運営に生かそうとしているところ 住民はもちろん、職場の調整にも努力しているところ
住民の声を事業企画等に生かそうとしていること
住民の声を事業内容にとり入れていること
住民の声を取り入れ、共に考える健康づくりをしながらも専門職知識のギャップの中で事業の企画調整していること
住民の声を取り入れ、事業の健全運営に努めていること
住民の声を充分に聞くようにしていること。
住民の声を出来るだけ、上司まで伝え1つ1つの事例を大切にしていること 関係職種と連携し、コーディネーター的役割をしていること
住民の声を真摯にうけとめて、何とか解決にむかうよう努力しているところ
住民の声を身近にきき、その情報や思いを大切にし事業の運営、企画につとめているところ
住民の声を身近にきき、その情報や思いを大切にし事業の運営、企画につとめているところ
住民の声を身近にきくことができること。
住民の声を生かし、区政に反映させようとしているところ
住民の声を生かしている所
住民の声を尊重していること。
住民の声を大事にし、介護予防に力を入れているところ 住民の健康管理能力の向上に力を入れているところ
住民の声を大事にできるだけそうようにしていること
住民の声を大事にして保健事業を展開している事
住民の声を大事にしようとしていること
住民の声を大事にしよう心がけ、住民の立場に立って物事を考えようとはしていますが、なかなかそれが仕事に生かせません。
住民の声を大切
住民の声を大切に、タイムリーに活動する事
住民の声を大切に、できるだけ住民に近づこうとしているところ
住民の声を大切に、今後に生かすように心がけている
住民の声を大切に、住民の立場に立って、事業の企画・運営をしていること。
住民の声を大切に、きめ細かい相談対応
住民の声を大切に、ていねいに対応していること
住民の声を大切に、できるだけ住民の希望に答えられるように努力していること
住民の声を大切に、できるだけ制度にむすびつけようとしている所(使える制度を活用しようとしている所)
住民の声を大切に、できる限り、それに沿うように事業の実施をしていること。
住民の声を大切に、できる範囲の資源で住民にとって必要なサービスを見出し、提供しようとしているところ
住民の声を大切に、ニーズに合わせて事業を前向きに展開していること
住民の声を大切に、業務に反映させていること。
住民の声を大切に、業務上関係機関との連携をとり困難事例の調整をしている
住民の声を大切に、近からず遠からずで住民の行動を見守り助言をそえる
住民の声を大切に、個の処遇を検討し、ケアをマネジメントしていくところ
住民の声を大切に、事業に生かしていけるようになればそこを評価して欲しいです。
住民の声を大切に、事業に反映していること。
住民の声を大切に、事業の企画・運営をしていること。
住民の声を大切に、事業の企画・運営をしているよう心がけている
住民の声を大切に、住民と一緒に事業の企画、運営を実施していること
住民の声を大切に、住民と関わりから得た情報をもとに事業を企画し、実施評価していること。
住民の声を大切に、住民と関わりから得た情報をもとに事業を企画し、実施評価していること。
住民の声を大切に、住民によりそった業務を心がけていること
住民の声を大切に、住民の自主活動を支援していること
住民の声を大切に、地域にとっても密着して働いているところ。

住民の声を地域の声として政策に反映できるかどうか
住民の声を中心に地区の活動を行っていること。(教室の内容や時間・場所)
住民の声を直接聞き、生活状況を自分の目で確認し必要最少限必要な支援は何か考えていきたい。
住民の声を反映させた事業展開を行なっていること。
住民の声を反映させた点。
住民の声を反映し、事業を企画、運営し、評価しフィードバックしていること。効率良く事務仕事をしていること
住民の声を反映した事業を計画していること
住民の声を反映しようとしているところ
住民の声を聞いて、企画、運営するところ
住民の声を聞いて仕事していること。
住民の声を聞いて仕事していること。
住民の声を聞いて必要な事業や行動が必要と思っている
住民の声を聞き、教室や相談に生かす。押しつけない。家庭訪問など外へ多くでて、来所以外の住民へも看護を行うよう心がけている。
住民の声を聞き、事業にとり入れること
住民の声を聞き、住民の暮らしに目を向け住民サービスを第一に考えること
住民の声を聞きたい 例えば、感染症発生があり、終見した後に、その家族に対し今一度、接触し
住民の声を聞きできるだけ住民の立場になって考えるようにしているところ
住民の声を聞きながら、事業を運営していること。限られた人数の中で、各種の事業を行っていること。
住民の声を聞きながら、事業計画していること
住民の声を聞くこと
住民の声を聞くようにしている
住民の声を聞く姿勢をもって対応している
住民の声を聞こうとしているところ
住民の声を保健事業に生かす努力をしていること。
住民の声を良く聞き、一緒に方向性を考えたり住民の考えていることなどを調査し還元する
住民の声等から施策に反映しようとするところ
住民の潜在的ニーズ、顕在的ニーズにできるだけそうように保健事業を展開していること
住民の組織の育成、支援
住民の訴えをよく聞き、住民の立場にたって、相談指導を行っている。
住民の相談に、専門職としての知識を活かしながら、丁寧に対応していること
住民の相談にのり、他の必要機関につないでいること
住民の相談にのり、他の必要機関につないでいること
住民の相談に応じ、関係機関との連絡等により、迅速に対応していること
住民の相談に対して、ていねいに接していること
住民の相談者としてその都度理解されるよう知識を豊かにし、自分の仕事を楽しく継続してこられたこと。
住民の相談等ニーズに応じた対応を心がけていること 職場内の人間関係に心がけていること
住民の側からみたサービスの提供をするよう努める
住民の側に立って考えているところ。
住民の側に立って仕事をしていること
住民の代弁者という立場でなく、住民が必要としているニーズを分析し見極めながら行政の役割、地域の役割を考え、企画施策化しようとして努力していること。
住民の直の声を聞き、できるだけ必要に応じ適宜解決できるように上司や同僚と相談し必ず健診や相談をうけたらすぐに話し合い、今後の方針や対応策を考えている
住民の反応とか…
住民の表情が朗らか、おだやかに変化する過程にかかわっているところ。
住民の変化、改善
住民の保健医療生活(他の専門分野も含め)等の諸々の相談につきやすエネルギーと時間と相談の重さについての保健師活動としてとらえてもその内容を評価されることが全くない。本来の業務としてとらえられるだけである
住民の抱える様々な悩み、問題に対応し、解決の支援をしているところ
住民の方 1人1人に誠意のある対応をしていること
住民の方、主体での健康づくりをすすめるため、グループのメンバーと連携をとっている。
住民の方からはわかりにくいですが、健康の保持、増進という点で、仕事をしているところ。(実際に結果にあらわれにくいですが)
住民の方が生活していく上で困ることがないように相談にのり対処していること。

住民の方が相談しやすいように、一人一人の対応をきちんと行い、笑顔で接しているところ。
住民の方と接する時に相手の気持ちを大切にしていること
住民の方と接する時は、常にけんきょな姿勢で対応しようと心がけているところでしょうか…！？
住民の方のニーズをアセスメントし、ケアプランの作成及び訪問業務を行っている
住民の方の声を、一意見としてだけでなく、大切にもちかえていること。
住民の方の声を訪問等で直接聞き、大切にしている。
住民の方の相談に乗れるので、住民の方の生の声、考えが聞け、それに対応できるところ。
住民の方や、関係機関から相談があると、できるだけ早めに対応できるよう努力しているところ。
住民の方一人一人との関わりを大切に、そこから次につなげられることを実践していく。
住民の方々と協働して地区活動を行っていること。
住民の方々に対して親せつ丁寧に接していること
住民の方々に対して誠実に対応している点
住民の満足度
住民の目標で情報を得て、今後の仕事に生かそうとしているところ。そして実施すること。
住民の目標に立って考えていること
住民の様々な相談に対し、看護や医療の知識を生かし、ケアマネジメントし、問題解決にむけた支援をしていること。結果、地域社会の安寧に寄与していること。(保健師活動のベースとしては、当然のことと考えたいものであるが…)保健師に求められる、政策への提言、施策立案等については、評価に値する実践に到っていないくらいが現状。
住民の要望や意見をよく聞き、住民の特性を知った上で事業の企画・運営をしている。
住民の要望をとり入れた保健事業の実施
住民の要望を事業の中に盛り込むよう努めていること。
住民の立場、気持ちを考えながら保健活動している所。
住民の立場から事業を見るように心がけていること
住民の立場での感覚と、行政の立場での考え方の両方で捉えるようにしている(悩むことが多いが)
住民の立場にたった、相談業務を行っていること
住民の立場にたった、保健指導、相談、支援を心にかけていること
住民の立場にたった関わりを大切にしていること。
住民の立場にたった物事を考えること 聞く耳を常に持っていること
住民の立場にたった保健指導を行っていること
住民の立場になって、仕事をしていること(障害者やその家族)
住民の立場になって関わるよう努めてきた事、必要な情報・知識を提供している 関係機関からの問い合わせ等 連携を■■■■自分からと、■■■して。
住民の立場になって考えること
住民の立場になって話を聞き、その人にとって一番良い方法をケアマネージャーや他の職種と連携をとりながら考えていくこと。
住民の立場になり、仕事を責任もって行っていること
住民の立場になり円滑な方法でわかりやすく説明し問題解決できるよう努めているところ
住民の立場に立ち、今後の生活(特に介護面)と一緒に考える姿勢を大切にしていること
住民の立場に立ち、情報を集約し事業化しているところ
住民の立場に立ち、専門職として何が必要かを住民の声や様々なデータを基に判断し、事業の企画や運営を行っているところ
住民の立場に立ち仕事をすすめているところ
住民の立場に立ち担当事業がよりよいサービスであるように常に考えていること。
住民の立場に立った関わりと、その情報から、必要な企画を立案し実行すること
住民の立場に立った考えのもと対応していること、ことばづかい等
住民の立場に立った支援をしている 孤立している障害者の支援をしている
住民の立場に立った支援をモットーに、そこから把握した課題を施策化し、住民生活に還元できるよう心がけている
住民の立場に立った視点をもちて業務を行っていること。
住民の立場に立って、(気持ちに配慮して)接することを大切にしていること。
住民の立場に立って、「どうすれば手間がかからないか(手続き等)」「健康のためによいか」等と常に考えながら接していること。
住民の立場に立って、仕事に取り組んでいること
住民の立場に立って各事業を実施している
住民の立場に立って考えていること
住民の立場に立って指導するようにしていること
住民の立場に立って事業を考えていくところ